チーム乙女の発表を始めさせていただきます。

メンバーは豊島と畑本です。

よろしくお願いいたします。

このような流れで発表いたします。

まず初めに、システムのコンセプトについてお話させていただきます。

アプリケーションの名前はHEALPYといいます。

楽しく健康になってもらいたいという思いからHealth×HappyでHEALPYとなづけました。

コンセプトは、１日の生活を振り返るアンケートに回答することで自身の健康度を簡単に把握でき、健康的な生活への意識を促進することです。

ターゲットは、私たちが女性だけのグループだったということもあり、女性にしました。

次に、チームと担当の紹介です。

リーダーは豊島で、各画面のHTML／CSS、 SEO機能、健康チェック機能、グラフ機能、管理者ページ機能、フィードバックコメント機能を担当しました。

書記は畑本で、データベース作成、ログイン／ログアウト機能、新規登録、レシピ表示機能、登録情報表示／変更機能を担当しました。

次にシステム規模と品質についてです。

画面数は１６で、ファイル数は画像なども併せて４９になりました。

テスト数は５７、総バグ数は開発しながら修正したりもしていたので正確な数は把握していませんが約４０件となりました。発見したバグはすべて修正済みです。

次に開発工程についてです。まず、要件定義書の作成を行いました。基本設計書作成では画面遷移図作成やデータベース定義など、慣れないことが多く予定より1日遅れました。その結果作業工程表の作成も１日遅れました。

詳細設計では、メンバーと役割分担し取り組んだことで、作業がスムーズに進み、1日前倒しとなりました。そのほかの工程ではほぼ予定通りに進めることができました。

それでは開発したシステムをデモンストレーションにてご説明いたします。

以上でデモンストレーションを終了します。

続いて、システム開発での苦労した点などについて豊島が発表します。

まず、苦労した点はグラフの実装と健康チェック機能の実装です。データベースに入力値を保存したりデータベースから値を取得したり取得したデータを画面上に反映させたりするなどの機能の実装に苦労しました。

工夫した点は、レイアウトや配色です。見やすく誰でも直感的に使えるようなデザインを目指しました。

反省点は、開発途中でどのように実装したい機能をプログラムで書いたらよいか迷うことがあり、進行に遅れが出そうになったことです。

続いて、畑本が発表します。

苦労した点は、ダイアログの実装です。３つのダイアログを続けて表示させる処理を書くのにとても苦労しました。

工夫した点は、レシピ機能です。目標体重の有無によって表示させるレシピをヘルシーなレシピと通常のレシピに分けました。また、レシピはランダムに表示させるようにしました。

反省点は、登録情報変更のテスト中に入力チェックやアラートのバグが見つかり、開発の段階での詰めが甘かったと感じました。

最後にこのチーム開発を振り返って、11日間という短い期間ではありましたが、メンバーと役割を分担し分からないところは補い合いながらアプリケーションを開発することができました。

楽しく開発しながらプログラミングの知識も身につけ、チームで開発することの楽しさも学ぶことができた貴重な時間でした。

このチーム開発演習の学びをこれからの業務に生かしていきたいと思います。

以上で、チーム乙女の発表を終了します。

ご清聴ありがとうございました。